

おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー一部報第 23 号 (3 月 18 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

平成21年度の日程について

近年ユース世代のサッカー界では大会の時期・規模などがコロコロ変わり、現場は右往左往しております。選手権の県予選は以前は10月から戦いが開始されておりましたが、数年前より、具体的には県リーグ戦の導入に伴い、日程上の関係から7月に一次予選を行い、10月から二次予選を行うというやり方が定着しつつありました。

このたび、日本サッカー協会より、ユース世代(2種)の県リーグを1年間通じて行うよう強い指導があったそうです。山形の県リーグはこれまで8チーム総当りの7節で終了しておりました。日本に**リーグ戦の文化**を根付かせることを重視するサッカー協会は、山形を含め全県に試合数の倍増を(強硬に)要求。山形でも来年度から、**8チームで2回ずつ総当りし、一チームあたり計14試合を行う**こととなりました。山形などの雪国では年間通じた戦いができないため、秋までにすべての試合をこなさなければならない強行日程となります¹。試合数が多いので、一部の試合でも会場はクレートコートの場合もあります。

正直、顧問としては、サッカー協会が現場の事情を無視し、トップダウン式に物事を決めて行くやり方に批判的なのですが、従わざるを得ないようです(リーグ戦についての話し合いを地区の顧問会議でした際に、私は協会の意向を無視する意見を出したのですが、山形だけ協会と違う道を歩む選択は取れないようです)。新年度の日程は、選手権について、**10月から予選がスタートする数年前と同様の方式へ**と改められました。

ともかく、今年同様、来年も県リーグは重要となります(次年度の県総体の枠を確保する意味でも)。トータル14試合の県リーグの応援、よろしく願いいたします。ちなみに次年度はモンテユースがプリンス2部へ昇格し、1部の山形中央、2部の羽黒とともに山形代表として戦います。県リーグ1部は、昨年の順位順に、**新東、東海、城北、鶴東、日大、山東、鶴工、山商**(鶴工、山商は2部から昇格)の8チームとなります。厳しい戦いが続くと思いますが、言い訳せずに戦い抜きます!!



¹ 協会の狙いとしては、高校サッカー選手権などのこれまでの大きな大会が終わった後にも3年生に公式戦ができるようにし、高校から大学、高校からプロ、社会人チームへと選手が渡る間際まで、リンクを作らないようにしたいようです。山形では土台無理な話です。